

横浜市立岸谷小学校

平成29年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>学校教育目標実現のために、〔希望〕〔幸福〕〔他愛〕あふれる、児童・保護者・地域・教職員にとって魅力ある学校づくりを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの子どもが、日々の授業や様々な行事等において、主体的に課題を解決する学びを大切にし、授業力の向上に取り組みます。</li> <li>一人ひとりの子どもに寄り添い、互いを認め合う心、豊かな心、そして、たくましく健やかな体を育むように努めます。</li> <li>一人ひとりの子どもの学びと生活を支える教育環境の整備、改善を進めます。</li> <li>一人ひとりの子どもが、地域の行事や交流活動を通して、まちに貢献する心を育みます。また、近隣の幼保小中高大学連携を進め、教育活動の充実を図ります。</li> </ul>	

(2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

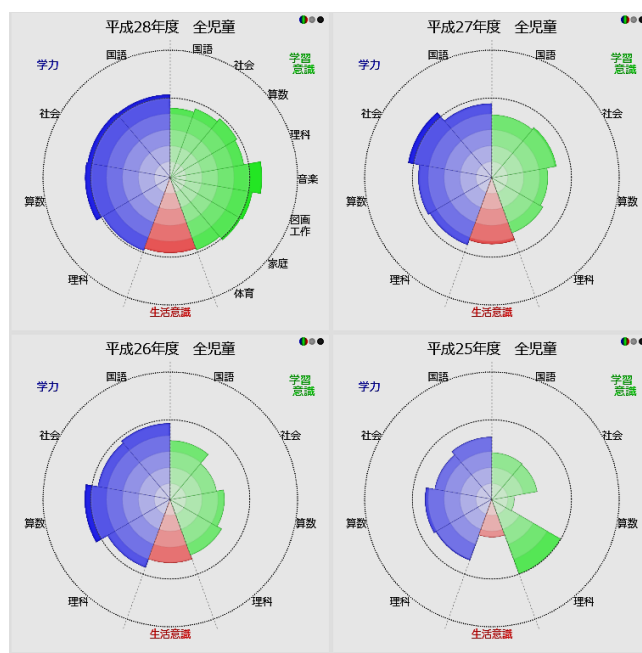
重点取組分野		取組目標	具体的取組
確かな学力 (学習指導)		基礎・基本の定着とともに、育成を目指す資質・能力を明確にし、主体的・対話的で深い学びを大切にした授業を追求します。	子どもの実態をとらえ、資質・能力を育成する授業、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業を実践します。授業では、話す、聞く、振り返るなどの学習スキルの定着や各教科における見方・考え方の深化、統合を図ります。朝のスキル読書タイム、各学年の発達段階に応じた家庭学習の継続により、学習の習慣化と基礎的・基本的な学習事項の定着を図ります。
担当	教育課程部		

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析

横浜市学力・学習状況調査分析チャートから、各教科の学力は、平成25年度は市平均に達しない状況であったが、平成28年度は市平均と同等になっている。このことから、全校児童の学力は向上していると言える。これは平成25年度からの算数科を中心とした重点研究での研究、授業改善に向けての取組やスキルタイム等の充実を図る取組の成果である。

一方、学習意識、生活意識については向上してはいるが、市平均には達していない。意欲・関心・態度についてさらに引き出していく必要がある。

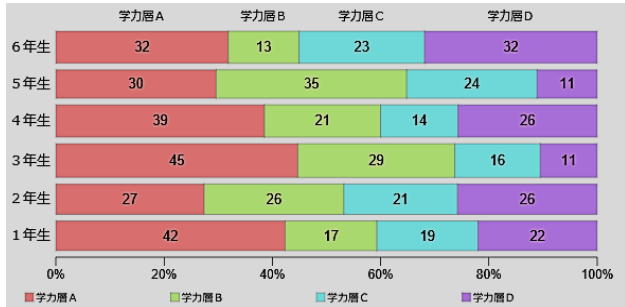


## (2) 教科学習の状況・経年変化の状況と要因の分析

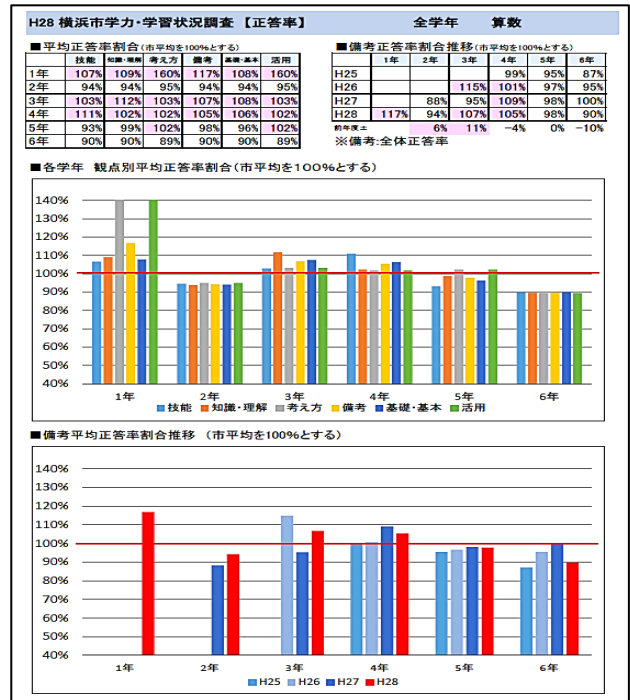
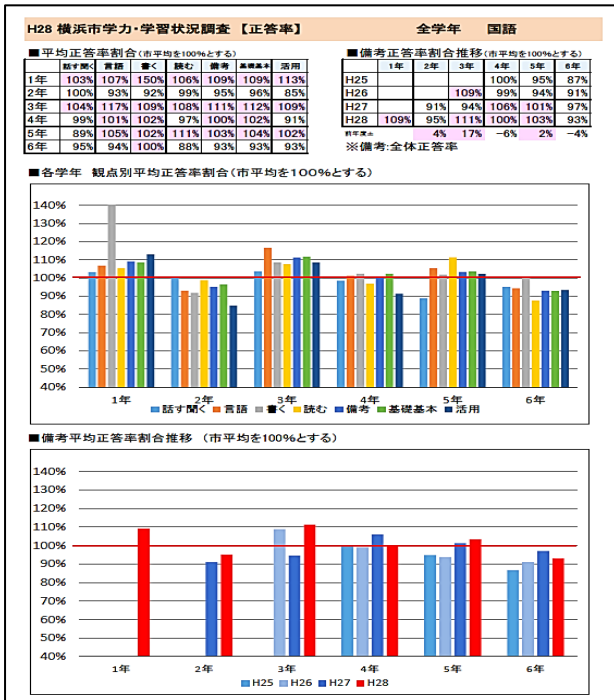
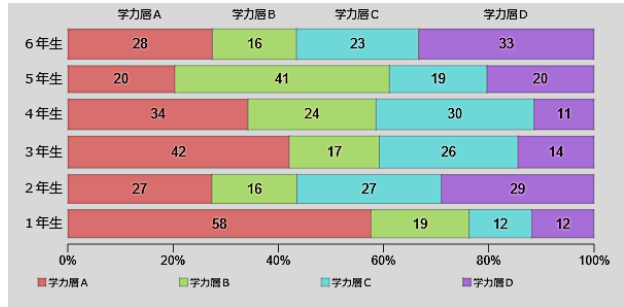
平成28年度横浜市学力・学習状況調査の結果から、各学年の国語、算数の学力層については下図の通り、国語では2年、4年、6年が低学力層の割合が比較的大きく、算数では2年、6年が低学力層の割合が大きい。2年、6年は国語、算数とも低学力層の割合が大きいことから、国語、算数の相関関係があると言える。それぞれの教科について、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る授業が求められている。

正答率については市平均を上回る学年は、国語は4学年に、算数は3学年に増加している。各学年ともこれまでの推移から、学力は向上していることが分かる。

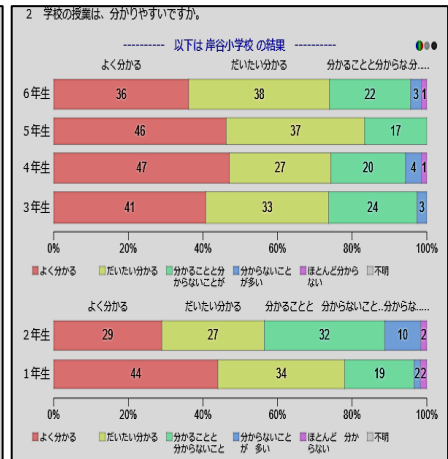
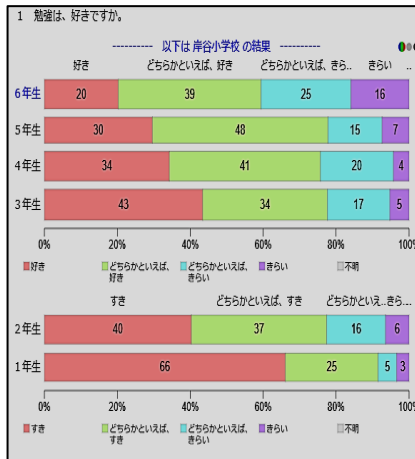
### 国語



### 算数

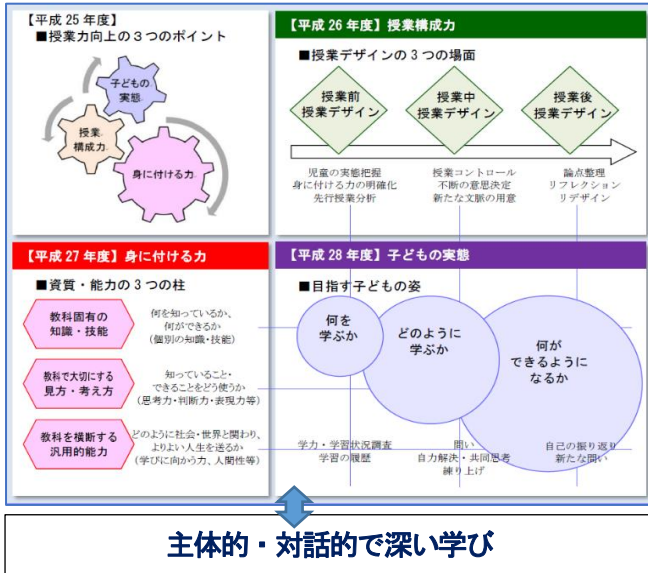


勉強が好きかを問う設問では、学年が上がるにつれて、意欲が低下していることが分かる。授業は分かりやすいかを問う設問では、どの学年も4割前後がよくわかると回答しているが、2年は3割を下回る。



### 3 平成29年度 学年・教科等としての具体的取組

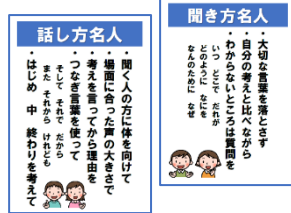
## 授業デザイン



これまでの本校の研究により、育成を目指す資質・能力を明確にし、子どもの実態把握、評価に焦点をあて、期待する子どもの姿をもち、目の前の子どもの実態をとらえ、授業デザインしていく。話し合いの中から課題を見出し解決したり、互いの意見を交流したりするなど、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、日々の授業を実践していく。実践を重ねる中で、成果や課題を検証し、指導計画を改善しながら、資質・能力の育成、主体的・対話的で深い学びに向けて、各教科間で関連を図り、総合的、横断的な授業をデザインしていく。また、話す・聞く、まとめる、振り返るなど、主体的・対話的な学びを支える学習スキルの定着も不可欠である。さらに、基礎的・基本的な学習事項について、生きて働く知識・技能として定着を図る。

#### 主体的・対話的な学びを支える学習スキルの定着

意見を進んで発言し聞き合うなど、話し合いを進められるよう、各学年の段階に応じた話型を掲示したり、問題解決のプロセスや解決方法、学習内容、ノートのもとめ方など、学習履歴を掲示したりする。学習場面で繰り返し確認していくことで主体的・対話的な学びを支える学習スキルの定着を図る。



#### 見方・考え方を働かせ、学びを深めるプロセス

何が問題であるか、個々の疑問から学習課題としての問いを見出し、見通しをもち、解決していく。解決過程を説明するなど互いの表現、思考を深めていく。また、学習の振り返りをし、何ができるようになったのかを自覚化できるようにする。こうした問題発見、問題解決のプロセスを学びの文脈として授業を展開していくことにより、主体的に学びを進める力を身に付けられるようにする。

#### 岸谷 SR

少人数グループでの学習指導と、4年、5年の算数での習熟度別指導により、個々の実態に応じた指導を行い、課題に取り組む。

#### スキルタイム

火曜日～木曜日までの朝の時間にはまっ子ドリルなども活用し計算や漢字などのスキル学習を行う。繰り返すことで基礎的・基本的な学習事項の定着を図る。

#### 読書タイム

火曜日～木曜日までの朝の時間、スキルタイム後に読書タイムを設定。各学年で年間読書目標冊数を設定し、読書の習慣化を図る。

#### 家庭学習

各学年、音読、国語や算数のプリントなど、毎日家庭学習を行い、家庭と連携し学習の習慣化を図る。

取組  
・スキルタイムファイル

取組例  
・読書日記カード

取組例  
・音読カード  
・宿題カード